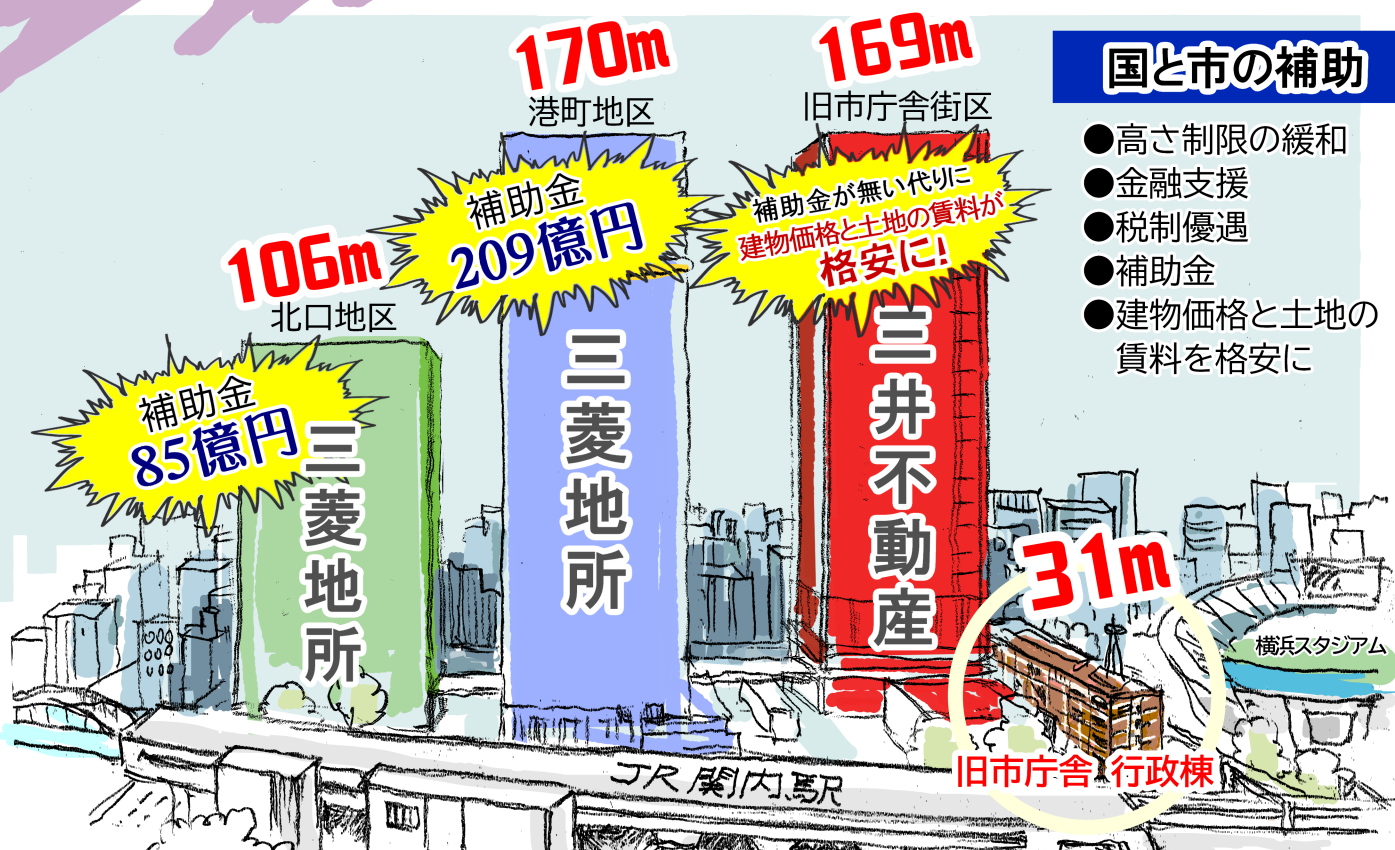


横浜市 関内駅前に 超高層ビル群!



国と市の補助

- 高さ制限の緩和
- 金融支援
- 税制優遇
- 補助金
- 建物価格と土地の賃料を格安に

開港以来の街並みが台無し!!

永年市民に親しまれ、歴史的建造物として価値ある旧市庁舎は解体され、行政棟のみを残し星野リゾートのホテルになります。国と横浜市と開発業者が市街地再開発で進める超高層ビルの建設は、日本全国どこでもある光景を生み出すだけで、地域を分断し、横浜らしさを破壊するものです。また開発業者への数々の過剰な優遇策は、財政の毀損ももたらします。再開発＝超高層ビルをこのまま許せば、まちも人も貧困になります。わたしたちは、人のためのまちづくりを裁判で訴えています。

住民訴訟

原告は横浜市民71名! (本人訴訟) 😡

旧横浜市庁舎売買/土地貸付契約取消を求める

次回口頭弁論は 4月20日(月) 11:00～

＜場所＞横浜地方裁判所 101号法廷 傍聴にぜひお越しください。

＜横浜市民の財産を守る会＞ 旧横浜市庁舎が三井不動産グループに売却されること、また計画の過程に疑問を持った市民の手により2021年3月に結成されました。

カンパのお願い

会の運営はすべて会員や支援者からの寄付により賄われています。
趣旨にご賛同頂ける方からのご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行 店名: ○九八 (ゼロキュウハチ) 店番: 098
預金種目: 普通
口座番号: 2617702
口座名義: 横浜市民の財産を守る会

ホームページはこちら

<https://naonobutakata.wixsite.com/website>



① 関内の再開発は市庁舎移転から始まった。

2020年6月新市庁舎竣工

敷地面積:約13,500㎡
高さ:155m (32階)
総事業費:約823億円



旧市庁舎は開港100年を記念して建設された歴史的建造物。

設計:村野藤吾 (文化勲章受章者)
敷地面積:約16,500㎡
高さ:31m (8階)

② 山中市長が不当な安値で旧市庁舎を売却。

◎2021年9月、就任後1ヶ月の山中市長が旧市庁舎を破格の安値 **7,700万円** で三井不動産グループと契約。

◎しかも市民広間・市会棟にあった美術品の価格は含まれていない。

◎土地も77年もの間 **1,076円/㎡/月** の激安で貸す。

◎市は旧市庁舎街区を高さ170mに規制緩和。さらに補助金と税制などで企業優遇。



辻晋堂作「海・波・船」7m×50m
引用:ヨコハマ経済新聞



人間国宝:香取正彦
「愛市の鐘」
引用:市の資料 はまれぼ.com



写真奥の建物が行政棟。行政棟は外観のみ残され、星野リゾートのホテルに。
手前にあった市民広間や市会棟は解体・撤去され、高さ169mの超高層ビルに。(2023.12.19 撮影)

◎市庁舎は60億円掛けて耐震工事が行われ、今後50年先も使用できた。しかし、文化財も含め売却の是非が問われることなく、横浜市民の財産は棄損された。

③ 関内の開発はまだまだ続く！

旧横浜市庁舎跡地を手始めに、関内駅周辺は超高層ビル他、開発が目白押し。

(今、全国で同様な駅前開発が進められています！)

<裁判の経緯>

- 2020年 6月9日 太田・井上市議が提訴
- 2021年 3月8日 市民500名で監査請求→棄却
- 2021年 5月27日 市民86名で提訴
- 2021年 12月6日 第1回口頭弁論
- 2026年 2月2日 第18回口頭弁論

お問い合わせ: [横浜市民の財産を守る会]
高田尚暢 TEL 070-8446-0454
mail: naonobutakata@gmail.com